

CentOS Linux からクラウド 対応のオペレーティングシステム に移行



Red Hat Enterprise Linux のビジネス価値

CentOS Linux のような無料版 OS と比較すると、Red Hat Enterprise Linux では、チームがどこで作業していてもより多くのことをより短時間で行うことができます。²

- ▶ **32%** 向上: IT インフラストラクチャ・チームの効率
- ▶ **42%** 高速化: セキュリティリスクの特定
- ▶ **23%** 迅速化: 新しいアプリケーションの開発ライフサイクル
- ▶ **72%** 短縮: 予定外のダウンタイム
- ▶ **24%** 削減: 3年間の運用コスト
- ▶ 組織あたりの年間平均純収入が**1,731万ドル増加**

クラウドの取り組みをサポートするオペレーティングシステムを選ぶ

あらゆる業界の組織が、コストの最適化、効率化、迅速なイノベーションを実現するためにクラウドに移行しています。実際、企業はワークロードの 50% をクラウドで実行し、データの 48% をクラウドでホストしており、また 44% の組織では、より多くのワークロードをクラウドに移行することが最重要課題となっています。¹

しかしながら、クラウドへの移行は IT の複雑性を増しかねません。クラウド戦略では、潜在的なセキュリティリスク、運用の非効率性、予算の超過を回避しながら、クラウド投資から最大限の効果を得るための慎重な計画が必要です。

データセンターとクラウド環境間で一貫性のあるオペレーティングシステムを使用して標準化することで、複雑さを克服し、クラウドへの移行を単純化することができます。柔軟性とイノベーションを提供するオープンソースの開発モデルである [Linux®](#) は、クラウド環境に最適な選択肢です。ただし、すべての Linux ディストリビューションが同じというわけではなく、ディストリビューションの選択がクラウドやデータセンター環境の効率、パフォーマンス、セキュリティ、コストに大きな影響を与える可能性があります。

無料で利用でき、コミュニティがサポートする Linux ディストリビューションの CentOS Linux を使用している組織は、現在、選択を迫られています。CentOS Project は、2024 年 6 月に CentOS Linux のリリースとアップデートを打ち切りました。そのため、CentOS Linux ユーザーがアップデート、パッチ、新機能を引き続き受け取り、パッチが適用されていない脆弱性や潜在的なセキュリティ侵害にさらされることを避けるためには、新しいオペレーティングシステムに移行する必要があります。新しいオペレーティングシステムの実装は面倒に思えるかもしれませんが、これを機に、組織は自社のニーズを再評価し、現在および将来にわたってクラウド戦略をより適切にサポートするプラットフォームを選択することができます。

先進的な IT およびエンタープライズ・ハイブリッドクラウド・デプロイメント向けの一貫性のあるインテリジェントな運用基盤である [Red Hat® Enterprise Linux](#) は、組織に最適なメリットをもたらします。CentOS Linux は Red Hat が公開したソースから派生したもので、同じスキル、技術、要素の多くを引き続き使用でき、また、クラウドで成功するために必要な機能、ツール、サポート、価値を獲得できます。

プロダクショングレードのクラウド対応オペレーティングシステムで標準化

一貫性は、クラウド移行を成功させるために重要な要素です。データセンターとクラウド環境にまたがる運用基盤を単一の基盤で標準化することで、クラウドへの道筋を大幅に単純化できます。運用と管理を複数のドメインに分割せずに、単一セットのツールとプラットフォームを使用して、複数のフットプリントにわたってアプリケーションとワークロードをデプロイ、実行、移動できます。

1 Flexera, 「[Flexera 2024 State of the Cloud Report](#)」、2024 年 3 月。

2 IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「[無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値](#)」、2023 年 3 月。Document #US50423523。

Red Hat Enterprise Linux によってデータセンターとクラウド・インフラストラクチャが統合されるため、運用を効率化し、柔軟性を高め、クラウドへの投資を最大限に活用できます。このクラウド対応のオペレーティングシステムは、物理、仮想化、ハイブリッドクラウド、マルチクラウド、さらにはエッジ・インフラストラクチャなどのフットプリントで、一貫性のあるカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。Red Hat Enterprise Linux は、[Microsoft Azure](#)、[AWS](#)、[Google Cloud](#)、[IBM Cloud](#)、[Alibaba Cloud](#) など、すべての主要なクラウドプロバイダーでの使用が認定されています。

CentOS Linux は、Red Hat が一般公開しているソースから派生したものですが、同じオペレーティングシステムではなく、同じエンタープライズ向けの機能、ツール、サポートを提供するものではありません。Red Hat Enterprise Linux に移行すると、Red Hat のソフトウェア、自動化、管理テクノロジーのポートフォリオとの使用が認定済みの、最新のエンタープライズ向け Linux イノベーションに直接アクセスできます。製品間の統合、パートナー製品の大規模なエコシステムでの認定、アーキテクチャとバージョンの選択により、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境の相互運用性が向上します。徹底的なテストと強化が行われ、制御された信頼できるソフトウェア・サプライチェーンを持つ Red Hat Enterprise Linux により、信頼性を損なうことなくイノベーションを促進できます。また、Red Hat は主要なハードウェア、ソフトウェア、およびクラウドベンダーと提携し、より多くの選択肢、イノベーション、安定性を提供しています。実際、すでに使用しているサードパーティ製品やツールを Red Hat Enterprise Linux で引き続き使用できる可能性は低くありません。



Red Hat Developer を通じて ツールやリソースにアクセス

[Red Hat Developer プログラム](#)は、問題を解決し、仲間とつながり、最新情報について知り、プロジェクトを前進させるためのツール、テクノロジー、ビルダーのコミュニティを提供します。

[Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#)により、他の Red Hat テクノロジーを実行している組織は特定の開発ユースケースで Red Hat Enterprise Linux を追加コストなしで使用できるようになります。

場所を問わず開発者をサポート

本番環境とは異なる環境でアプリケーションを開発およびテストすると、本番で問題が発生することがあります。また、開発者が生産性を最大限に高めるために必要なツール、リソース、サポートを受けられないこともあるでしょう。Red Hat Enterprise Linux のような共通のプラットフォームを開発やテスト、本番環境に採用することで、新しいアプリケーションの立ち上げまでの時間を効率化し、立ち上げ時の非互換性や問題発生リスクを低減することができます。Red Hat Enterprise Linux は信頼できるオペレーティングシステム・イメージにクラウド上で容易にアクセスできるほか、開発から本番までのパスを効率化するために必要なツールチェーン、ライブラリ、コンテナツール、ランタイムを提供します。アップデートは[アプリケーション・ストリーム](#)を通じて配信されるので、開発者と IT アーキテクトは最新のツール、ランタイム言語、データベースを試すことができ、前のバージョンにアクセスしてプロダクション・アプリケーションをメンテナンスすることもできます。

また、Red Hat は開発者に特化したリソース、プログラム、サブスクリプションを提供しており、組織は Red Hat Enterprise Linux での開発をより簡単に、コスト効率よく行うことができます。

- ▶ [Red Hat Developer プログラム](#)
- ▶ [Red Hat Developer サブスクリプション \(個人用\)](#)
- ▶ [Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#)

クラウドでエキスパートのサポートにアクセス

80% の企業がクラウドの課題としてリソースや専門知識の不足を挙げています。¹ CentOS Project は、CentOS Linux ユーザーに対して商用サポートを提供していないため、プラットフォームのサポートに関する問題をすべて社内で処理し、運用に多くの時間とスタッフを要していることがあります。

Red Hat Enterprise Linux の購入方法に関係なく、貴社のクラウドプロバイダーのサポートチームと連携した Red Hat の[受賞歴のあるサポート部門](#)によるサポートが受けられます。Red Hat Enterprise Linux は、Red Hat がサポートする唯一の Linux ディストリビューションです。Red Hat は、お客様が Red Hat ソリューションによって組織の目標を達成できるよう、クラウドパートナーと連携して専門知識、ナレッジ、場合によっては共同サポートを提供します。Red Hat Enterprise Linux を Red Hat から直接入手するか、クラウドプロバイダーから入手するかに関係なく、同じ高価値の体験を得ることができます。



Red Hat Insights で時間と 労力を節約

Red Hat® Insights の予測分析は、組織が効率的で回復力のある IT 環境を構築するのに役立ちます。³

- ▶ **26%** 迅速化：セキュリティインシデントの解決
- ▶ **18%** 向上：開発者の生産性
- ▶ **76%** 短縮：予定外のダウンタイム



セキュリティの認定

FIPS 140-2 および 140-3、CC、STIG などの厳しいセキュリティ基準に対する認証により、業界や状況を問わず、セキュリティを損なうことなく Red Hat Enterprise Linux を使用することができます。

Red Hat のエンタープライズグレードのサポートリソースとツールは、ビジネスを継続する上で役立ちます。電話またはチャットによる専門チームとのコラボレーションなどにより、技術的な専門知識、ガイダンス、ナレッジを 24 時間 365 日ご利用いただけます。Red Hat は、ビジネス成果の達成を迅速化するのに役立つ、個別のガイダンスやプランニングサービスも提供します。その結果、サポートに関する問題の解決にかかる時間が短縮され、組織のスタッフはより戦略的なタスクの方に集中することができます。実際、Red Hat Enterprise Linux を使用する組織では、無料の Linux ディストリビューションを使用する組織と比較して、予定外のダウンタイムが 72% 少なくなっています。²

統合されたツールでクラウド全体の管理を最適化する

CentOS Linux には高度な管理ツールや修復ツールが含まれていないため、これらのシステムを手動または他の社内管理ツールを用いて管理するのが一般的です。Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、運用と管理が効率化されます。[Red Hat Insights](#)、[Red Hat Satellite](#)、[Red Hat Ansible® Automation Platform](#) などの同じ管理ツール一式を使用して、すべての環境の管理と自動化を行えるため、時間と労力を節約できます。

Red Hat Enterprise Linux には、プラットフォームとアプリケーションを継続的に分析して、ハイブリッドクラウド環境の適正な管理と最適化を支援する独自のホストサービススイートである Red Hat Insights へのアクセスが含まれています。Red Hat Insights は、予測分析と詳細なドメイン知識を使用して、複雑な運用タスクの時間を数時間から数分へと短縮します。運用、セキュリティ、ビジネス成果を中心として、障害またはセキュリティイベントが生じる前に、管理者や関係者に警告を発します。

Red Hat Insights はオンサイト環境とクラウド環境で機能するため、単一のインターフェースからすべてを管理し最適化できます。また、付属のイメージビルダーサービスを利用することで、ハイブリッドクラウド環境全体で、より迅速かつ容易に Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステム・イメージを作成、管理、デプロイすることができます。カスタマイズした Red Hat Enterprise Linux イメージをビルドしてテンプレートとして保存し、複数のクラウドプロバイダーのインベントリにプッシュすることができます。そして、運用をさらに単純化するために、Red Hat アカウントをクラウドプロバイダーのアカウントにリンクし、クラウドベースのシステムとワークロードをプロビジョニング時に Red Hat Insights や他の Red Hat サービスに自動的に接続させることもできます。

クラウド環境におけるセキュリティとコンプライアンスの維持

78% の企業にとって、セキュリティは依然としてクラウドの最重要課題となっています。¹クラウドにおけるセキュリティとコンプライアンスを効果的に維持するには、一貫性が欠かせません。CentOS Linux には高度なセキュリティ管理ツールが含まれておらず、政府や公的機関によるセキュリティ認定も受けていません。

Red Hat Enterprise Linux は、[組み込みのセキュリティ機能](#)を備え、セキュリティ認定を受けており、コンプライアンスをより簡単に維持することができます。[専任のセキュリティチーム](#)、スキャンおよび修復ソフトウェア、新しいリソースへの継続的なアクセスにより、常にコンプライアンスを確保できます。自動化されたセキュリティツール、定期的なアップデートとパッチのリリース、専門知識の提供によって、組織の環境を保護します。Red Hat Enterprise Linux は、連邦情報処理規格 (FIPS) 140-2 および 140-3、コモンクライテリア (CC)、セキュリティ技術実装ガイド (STIG) など、[主要なセキュリティ基準での認定](#)を受けており、さまざまなユースケースで自信を持って使用できます。

また、すべてのアクティブな Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションで、必須および重要レベルの Common Vulnerabilities and Exposures (CVE) の [ライブカーネルパッチ](#)を追加費用なしで利用できます。さらに、Red Hat Insights を使用することで、Secure Content Automation Protocol (SCAP) ポリシーの作成、システムの CVE スキャン、単一のインターフェースを介した修復ガイダンスへのアクセスが可能になります。そして、ベストプラクティスに基づいた初期設定により、最初からクラウドでのセキュリティが強化されたシステムを構成することができます。

³ IDC ビジネス価値スナップショット (Red Hat 後援)、「[Red Hat Insights のビジネス価値](#)」、Document #US51795124、2024 年 2 月。



移行を効率化する

[Convert2RHEL ツール](#)を使用すると、CentOS Linux システムを Red Hat Enterprise Linux システムに直接変換できるので、より早くより少ないコストと手間でスタートすることができます。

クラウド費用をよりの確に制御する

82% の企業にとって、クラウド費用の管理はクラウドの最重要課題です。¹ Red Hat は、お客様の予算や要件に合わせた複数の購入オプションを提供しています。

- ▶ Red Hat からサブスクリプションを購入し、オンサイトまたは [Red Hat Cloud Access](#) を経由してクラウドで使用できます。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux インスタンスは、クラウドプロバイダーのコンソールまたはマーケットプレイスから入手できます。
- ▶ クラウドプロバイダーの確約利用料プログラムとクラウド内の Red Hat Enterprise Linux インスタンスの割引を利用できます。
- ▶ Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムを利用すれば、クラウド上で割引価格と柔軟な支払いオプションが適用されます。

将来のためのプラットフォームに移行する

Red Hat では、Red Hat Enterprise Linux への移行を容易にするプロセスやプログラムをご用意しています。[Convert2RHEL ツール](#)を使用すると、CentOS Linux システムを Red Hat Enterprise Linux システムに直接変換できます。この使いやすいツールは、コストのかかる再デプロイメント・プロジェクトの必要性を最小限に抑え、既存の OS のカスタマイズ、構成、設定を変換中も維持することで管理上の負担を軽減します。

また、[Red Hat コンサルティング](#)を利用することで移行を加速できます。Red Hat のエキスパートは、確かな知識と経験によって移行プロジェクトをサポートします。重要なアプリケーションやワークロードの特定と変換を支援し、お客様がその後も自信を持って続行できるように指導します。

自信を持って前進する

CentOS Linux の廃止は、クラウドの取り組みをより適切にサポートするオペレーティングシステムへの移行の機会になります。Red Hat Enterprise Linux は、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けにインテリジェントなプロダクショングレードの運用基盤を提供します。

前進するためのソリューションを red.ht/centos で選択しましょう。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
286560_0323_KVM

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1 800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1 800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052